

くろつち便り

今月の内容

くろつち会グラウンドゴルフ大会(10/13)
くろつち会旅行(11/12~13)
北陸3県を旅して(2)/憲法学習会(12/20)
金曜集会(12/7)/野草折々-20-/
くろつち会作品展/学習会・忘年会(12/2)

北陸3県を旅して(2)

東日本大震災復興の様子
文 桐原好昭

息子さんとお孫さん(一生君)の3人での北陸3県への旅。前回は、旅の初日と2日目の様子でした。初日は猪苗代湖・磐梯山誕生から今回の大震災へ思いをはせ、また2日目は陸前高田の現状を目の当たりにして、今でも避難所暮らしの人が多しことを憂えておられました。

3日目は、原発被災地入り。東電1号機のある所は、浪江町・双葉町・大熊町・富岡町。前の日の宿泊地南相馬から近づいて行くにつれて私の胸に湧いてくるのは、此の地も貧しい生活を余儀なくされてきた土地なのだと言う想いでした。全ての電力会社は金をちらつかせ握らせて、首長・そこに住む人たちを丸め込んで原電を作って来たからです。この4つの町は、今も立ち入り規制禁止地域です。20km圏内でも居住制限区域・帰還

困難区域などに区分され、原則立ち入り禁止です。豪邸は別として民家のほとんどは、蔦葛・夏草が屋根まで覆い、何とも言えない悲しみ・憤りを感じます。一生がシッコをしたいと言うので民家の生垣の脇に車を止めさせると、垣根越しに怨念にも似た呻き声を聞いたように思えたけど、一瞬にしてピカピカのダンプが消し去って行きました。

1号機がすぐ近くに見える。「え、こんな所に。」と、思いました。原発がある建家

は、砂浜が切れた先に繋がる僅かな高台にあります。大津波にひと飲み



されそうに見える高さです。しかも、砂浜から建家まで防波堤はありません。ほんまかいな。ここが建設基準に合格したとはとても思えません。その夜、ホテルの風呂場でこの思いを周りの人に話したら、計画が持ち上がってからいろいろ疑惑があったけど丸め込まれたと聞かせてもらいました。どこの原発をかかえている県知事もそうだし、わが鹿児島県の三反園知事も同じです。(次号に続く)

くろつち会GG大会

10月13日(土)、恒例のグラウンドゴルフ大会が予定通り行われ、20数名の会員が集いました。今回で17回になるそうで、開会式で、神田実行委員長「17回ずっと実行委員です。今日は、よか日和です。みんな頑張ってください」

中馬さん「(田崎中の行事で不参加)給料は下がるし、なぜ教員を辞めたんだろうと思ったこともありましたが、今では議員になって良かったと思っています。・・・学校の冷房施設がまだない学校が4校ありましたが、不平等があってはならない、ということで予算化できました。」

開催日を間違っていたという方もおりましたが、そのことも笑いの中に包み込み、大会は、石倉競技審判長が開会

式の中で「親睦が目的」と述べられた通り、和気藹々の中で進行しました。

結果は次の通りです。

- 優勝 藤井イクエ スコア37
- 2位 大窪一視 スコア37
- 3位 住吉 務 スコア37
- 4位 石倉俊一 スコア37
- 5位 松下徳二 スコア38
- BB 福留道男



前回優勝者から優勝杯返還



次頁へ続きます

第7回作品展特集

5日間の作品展が無事に終わりました。終わってみれば、入場者が記録に残っているだけで79



2名ですから1日当たり約160名、相当な観覧者です。隣で障害者自立支援の団体の催し物があって、中にはその流れで来られた方もいたかも知れませんが、

アンケートから

「水彩画をやってみたくらい80代の方」とてもなつかしい思いやエキゾチックに誘う感動を覚えました。心豊かになりました。また見たい。

たまたま「だいわ」に来て見てくださった方も多いです。その中から、

「60代の方」貝殻採集、おもしろかった。川柳、おもしろかった。サンタクロースの絵、かわいかった。木工、いろいろお話をうかがいました。

休日を挟んでいたこともあって、20才未満の

方も多かったようです。その中からいくつか、

「10代」初めて生で菊の花を見れたのがよかった。盆栽はかっこよかった。箱火鉢も好きだった。竹細工の入れ物がやってみたくらいと思った。

「鹿屋市の広報で知ったという10代」とてもきれいな写真や作り物など見て、とても楽しかったです。

10代なのに、広報をしっかり見ていることにも感心しました。

他に10代では「切り絵とか絵、写真がとてもきれいだった」とか「心がいやされました」「いろいろな作品が見れて、楽しかった」などの感想もありまし

た。なかなか高尚な感想も。

「百人一首の写しをやってみたいという10代」山口さんの伸びやかな筆遣いが、優美な世を思い起こさせてくれました。

リピーターがいるということも嬉しいです。

「毎年あるから知っていたという60代」皆さん、すごい才能だなと感心しました。また見たい。

「鹿屋市の広報で知ったという50代」いつも楽しく見せていただいています。五木の子守歌のうんちくも、なるほどと思いました。

DVDが完成しました。中には名前などの間違いがあるかも知れませんが、ご容赦下さい。（何カ所かは気づいて修正したのですが・・・）



次頁へ続きます



野草折々-20-

ヤッコソウ（ヤッコソウ科）
飯山春男さんに身近な植物を紹介して頂いています。今回はヤッコソウです。

1年生の寄生植物で、シイノキなどの根に寄生します。

10～11月に、高さ約7cmの花茎を出します。

大名行列の「奴（やっこ）」の姿に似ていることから、この名がついたという。

くろつち会旅行 1泊2日の旅を満喫

報告 内 俊朗

1日目

19名参加で、午前8時出発。あいにくの曇日和。飯山さん自作のレシピによって、甌島の成り立ちや島の特徴、トンボロなど学習しました。

突然、添乗員の高野さんから「天候不良で観光船かのこは欠航になりました」

「エー、残念、ワイワイ・・・誰の責任だ」 学習そっこのけで賑やかなこと。



里港で一曲「島立の春」の碑

里港上陸後、あっちへこっちへ各所見学。



↑長目の浜
左下、長目展望所/右下、和田さんと

さすがプロの運転手、狭い道もスイスイ。でも乗っている私達はヒヤヒヤ。

夜の食事は新鮮な刺身、焼きキビナゴなど大変おいしくて、修学旅行並みの賑やかさ。

2次会に出かけて、地元の若い娘さん達と、カラオケ合戦をした方もいたとか。

2日目

帰るだけの日程。観光船かのこは、今日も欠航とのこと。

串木野港上陸後、天気は晴天へ。そこでまた「かのこ欠航はだれのせいだ」とワイワイガヤガヤ。

最後の楽しみが、福山黒酢の楠志田(かくいだ)での昼食。「たいへんおいしかったです。」でも、土産買いが気になりました。

午後3時、教育会館到着。

かのこに乗船できず残念でしたが、楽しい旅が終わりました。

企画運営の野間さん、米良さん、ありがとう。お疲れさまでした。

お礼

和田元子さんが、夕方面会に来てくださり、2日目の見送りまでしてくださいました。

珍しい地元の焼酎をいただきました。ありがとう。お元気でしたよ。



学習したこと

観光船に乗れず、「海上200mの断崖」など見学できずに残念でしたが、砂浜がなく、丸味を帯びた石の海岸、赤土、大きい岩など学習しました。

住宅の特徴として、丸い石を積んだ垣根、強風に備えて土台を道路より低くした家造りに、先人の知恵を感じました。

行けて良かったです。

くろつち会学習会・忘年会

12月2日(日) 9:45受付
10時~学習会/会場:千成
12時~忘年会 会費3,000円

次回の金曜集会

12月7日、イベント広場
午後17~18時(ちょっと早い時間帯になりました)

次回の憲法学習会

小冊子「九条を守るために考える」の読み合わせ。11月は、第8問一戦争法のねらいは、自衛隊の「海外での武力行使」を合法化することなのですか?という問いへの解説でした。次回は、同じ問いの続きからです。

12月20日(第3木曜日)
18時~教育会館



次頁へ続きます

報告：飯山春男

くろつち旅行（上甕島）

1泊2日（明2～3日）の上甕島でのくろつち旅行。1日目は久しぶりの雨のため観光船によるクルージングはできなかったが、里のトンボロや長目の浜の潟湖群などを心ゆくまで堪能できました。参加者は男性13名、女性6名 合計19名。甕島在住の和田元子さんも港まで見送りに来てくださいました。



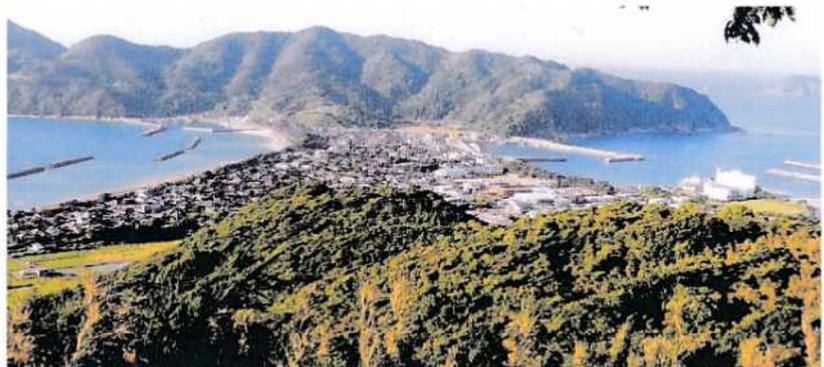
甕島の地層は古く、中甕島や上甕島の地層は中生代後期（白亜紀 1億年前）、上甕島は新生代初期（古第3紀）の地層とされています。

甕大明神

甕大明神の奇岩が甕（米などを蒸す器）に似ていることから甕島の名がつけられたといわれています。

里のトンボロ（陸繋砂州）

甕島の海岸では、あまり砂浜を見かけません。入り江では何処でも丸い礫（円礫）がよく見られます。これらの円礫は波の作用で打ち上げられて浜堤を築きます。里のトンボロでは東西両側に浜堤が形成され、その内側に里の集落が発達しています。



長目の浜



上甕島北岸の長目の浜は、島随一の景勝地で、浜堤の内側に四つの湖があります。これらは小さい湾の入り口が浜堤によって堰き止められてできた湖なのです。写真上の方から海鼠池（なまこ）貝池、鋤崎池です。海鼠池と貝池は汽水湖で、堆積が進んだ鋤崎池は淡水湖です。



サツマノギク

珍しい植物の恵まれた島です。今の時期はキク科の植物が花盛りです。今、海岸沿いにサツマノギクが咲き誇っていました。